

<生活科学部>

2021年度卒業論文題目

服飾文化

1. 高級ファッションブランドにおける本物の価値
——コピー問題の視点から—— 池田 萌々
2. 日本における男性化粧の移り変わり可能性
大野瑛里香
3. スポーツウェアとファッションの融合
國田 歩那
4. ネイルアートのトレンドとその可能性
鞍岡 彩耶
5. 現代における和柄の可能性——「現代版いわれ
小紋」の提案—— 金森 茜里
6. アパレル業界における EC の展開 岡山 友美
7. 中国化粧品と美容文化の日本における流行
喜島 実優
8. ファッションにおける毛皮の存在意義——リア
ルファーとフェイクファーの両面から——
廣津 瑠葉
9. ミュージカル『エリザベート』の表現における
衣装の効果——生澤美子を中心に——
森田 裕美
10. 着物の「新しい着こなし」の提案と可能性
東野 彩加
11. 「身だしなみに関する校則」の理想的な在り方
山本 優芽

被服学

1. サプールへのリスペクトを込めた衣服提案——
リクルートスーツをベースに—— 安藤 瞳
2. 金襴の装飾によるデザインの可能性——ブライ
ダルのためのドレスへの展開—— 古島 瑠乃
3. 藤の花をモチーフにしたドレス——平安文学に
見る女性の姿を手掛かりに—— 林 奈穂
4. 子どもの自主性を育む衣服の提案——絵本
『11ぴきのねこ』をモチーフに—— 貴田 麻裕
5. 現代のヒストリカルファッション——Fêtes
Galantes のための Robe à la Française——
桑田 優
6. 手編みで作るウェディングドレス 森田 あみ

7. 多様なスタイリングを可能にするゴスロリファ
ッションの提案 奥井 美紀
8. 装飾結びで飾る現代衣服の提案 瀬戸口礼佳
9. オレンジの花に祈りを込めて——花嫁を幸せに
するウェディングドレス—— 菅野 楓
10. 人生の節目に纏う衣裳——誕生・結婚・逝去——
谷口 瑠理
11. 量産型オタクの可能性——20代後半女性をタ
ーゲットとする地雷服の提案—— 寺田 彩華

住居計画

1. シェア居住の実態と入居者にもたらす価値——
国際交流を軸とした2事例の分析より——
中野 有香
2. コロナ禍への対応から見る劇場の現状と課題
花岡 真由
3. コロナ禍における住空間や住まいへの評価——
在宅ワークに注目して—— 高木万悠子
4. コロナ禍における大学生の生活時間と交流の実
態と課題——女子大学生を対象とした調査より
—— 山本 璃奈
5. シェアキッチンの実態と今後の可能性
柳瀬 唯
6. 小学生を対象とする放課後の居場所の特徴と課
題——京都市上京区の学童保育所を事例として
—— 谷村 南音
7. カタログに見る IKEA の家具デザインの変遷
——ソファ・椅子に着目して—— 山下 莉歩
8. 文化芸術の担い手を支える書店併設型集合住宅
の提案——Tsumugu Kanazawa—— 大坪 舞花
9. 高齢者住宅を含む多世代共生住宅の提案——個
性をつなぐ—— 柴垣 和佳
10. 空き家のコンバージョン提案——京町家をまち
のコミュニティスペースへ—— 芳川 陽香
11. 助け合う暮らしを実現するコレクティブハウスの
提案——共住（とます）—— 織田恵利奈

住生活学

1. 日本に存在するレーモンド建築の魅力——木造と鉄筋コンクリート造に注目して——
成田 琴美
2. 視覚・触覚によるフローリング材の質感及び印象に関する研究
前田 佳菜
3. リップカラーが肌の色の見えに与える影響——視対象の提示方法の違いに着目して——
賀好舞由紀
4. 絵画鑑賞に適した照明環境——LED照明の光色及び分光分布が絵画の好ましさに与える影響——
古澤 里菜・松村 萌花
5. 北欧における建築空間と自然光との関係性——昼光デザインの事例に着目して——
櫻井 晴香
6. 照明光の分光分布が肌の見え方に与える影響
廣崎 花夏
7. 自然素材を模した壁紙が室内空間の印象に与える影響
八百幸 葵
8. 退色した絵画を好ましく魅せる照明環境——浮世絵の赤色に着目して——
森 真由
9. 皿の色と色部分の面積率の違いが視覚的なおいしさに与える影響
三宅 麻由
2. 人の性格はどのようにして決定づけられるのか——性格の定義と変容——
安東 実里
3. 言語聴覚士 (ST) の役割と多職種連携の重要性——専門職の認知度とイメージに関する調査を踏まえて——
糸井 奈生
4. 女子大学生の思春期の共食状況と現在の社会的行動の関連性について——本学学生へのアンケート調査から——
常國 未歩

生命倫理学

1. 新自由主義社会における銭湯の存在意義——競争・格差を超えて身も心も裸になる——
斎藤 恵
2. 子どもの選択をひろげる——学校だけでない居場所の提言——
高塚 遙
3. 笑顔を届けるクリニックラウンジの存在意義——患児のQOL向上を目指して——
山崎 理香
4. 養育里親家庭に内在するウェルビーイング——多様化する家族からの問い——
麻生 真衣
5. 癒して育む心の余白——他者呪縛からの解放——
相原 静月
6. 共に育むキャリア観——偶発的と計画性の間に紡がれる自分らしい生き方をめぐり——
坂本 帆夏
7. 物語が織り成す世界——ナラティブによるドミナントストーリーからの解放——
山本 佳奈
8. 子どもの成長に必要な時間と空間——自立と親子関係をめぐり——
植田 瑞希
9. 包括的セクシュアリティ教育により変化する社会意識——自他の価値を尊重する意思の確立——
津田 美里
10. 食卓をひらく——縁食的サードプレイスが創るコミュニティ——
唐津 泉紀
11. 家族概念を拡張する意義——ケアに基づく協働関係の創出を目指して——
駒田 夏帆

環境計画学

1. 中山間地域における自助・共助・公助に注目した防災のあり方——滋賀県長浜市西浅井町 沓掛集落を例に——
平居奈奈未
2. 京都市のマイボトル利用促進に向けた施策の実態と課題
山田 菜緒
3. 大阪市におけるコロナ禍の子ども食堂のあり方
片山 舞
4. 滋賀県大津市における食品ロス削減に向けたエコイートの可能性——SDGsの達成にむけて——
宇野 遊
5. 2050年の京都府の将来像——水素社会の実現——
倉森 美希
6. 愛知県の新たな観光としてのジブリパーク成功要因
服部 汐里
7. 金澤町屋の保全と活用
吉田 若菜

社会心理学

1. 心理学的幸福感におよぼす Big Five の影響
馬場菜々花
2. 自己の対人有能性尺度を用いたダニング・クルーガー効果の研究
烏野なつみ
3. 対人ストレスにおけるストレス・コーピングと対人葛藤方略との関係
尾方みらい
4. 高校時代の担任に対する評価と高校の雰囲気と

家族福祉学

1. 在宅ケアにおける看護・介護の今後の役割とは——若者の家族介護についての意識調査を踏まえて——
脇本 真衣

＜生活科学部卒業論文題目＞

の関係——回顧的研究—— 大久保亜美

5. 社会的迷惑認知に関する基本的構造の探索
西津ひかる
6. 女性アイドルグループに関する体験的考察
坂口友利恵
7. 自己肯定感におよぼす対父親・母親接触経験の影響
迫田菜々子
8. Mr.Children の持続の人気に関する社会心理学的研究
佐藤 紬
9. KinKi Kids の持続の人気に関する社会心理学的考察
武田 晏奈
10. LINE 行動におよぼす Big Five の影響
土谷 奈央

都 市 空 間

1. 郷土教育が地域愛着にもたらす影響と今後の可能性を探る
津野 友里
2. 長野県大桑村の移住政策の意義と課題
幸所ももこ
3. ソーシャル・キャピタルの多様性——日本とカンボジア農村部の相互扶助の仕組みに着目して——
内山 里佳
4. 身近な公園を支える公園愛護会の未来を考える——名古屋市における活動を事例にして——
山口 初菜
5. 門前町の歴史的資源を活かしたまちづくりに関する研究——京都市内の3つの地域に着目して——
上田 真子
6. 空き家の福祉活用の有効性と今後の課題——「稲荷の家ほっこり」の事例に着目して——
松永 小蒔
7. 市民との繋がりを生み出す公共図書館の取り組みと課題
手束 文美
8. お土産物とその購買行動に対する SNS の影響
市川 千裕
9. 兵庫県三田市におけるスーパーマーケットの展開と食生活との関係性——スーパーの地理・空間的特徴とサービス面の比較および市民へのアンケートを通して——
泉 優梨
10. 芦屋ブランド再考——1970年代以降の芦屋に着目して——
川端 友梨
11. 阿蘇の文化的景観の変遷に関する研究——戦後と現在の土地利用から見て——
山下 遥佳

調 理 学

1. 冷凍処理がピーマンの色や苦味に与える影響
秋本 彩乃・平野 良実・神上園和奏
2. 加熱調理がジャガイモ及びサツマイモのアスコルビン酸量に及ぼす影響
嘉本 絵里・灘井 英実・中村 巴香
3. 炒め調理がピーマン中のアスコルビン酸に及ぼす影響
中野 紗里・西川 明李・奥村 菜奈

調 理 科 学

1. 植物の葉の香りが若年層の嗜好性に及ぼす影響——葉でもちを包む食文化継承への貢献——
石井 美羽・辻上 夢夏・表崎 理子
2. 和食の煮汁のにおい特性と醤油濃度が塩味増強効果に及ぼす影響について
大塚 美月・柳本 真歩

実 践 栄 養 学

1. 高齢者施設で提供される大根の「やわらか食」を家庭で調理する方法の検討
加藤 未来・澄川 由依
竹谷 知紘・宅間千佐子
2. 中学生の調理経験と自尊感情などとの因果関係モデルの検討——小学生の既報モデルとの比較——
日高 悠衣・田中 千遥
3. 中学生向け食育教材活用状況の評価とその改善方法
池側 奈穂・石井 歩実・寺田 光

基 礎 栄 養 学

1. 食後高血糖を制御する機能性たんぱく質食品素材の機能性評価
青山 桃子・河村 佳奈
2. 自律神経経路の遮断が小腸絨毛形態や機能に及ぼす影響
橋本 彩花・田中 貴和
3. 希少糖アルロースによる GLP-2 分泌機序の解明
春 ひとみ
4. 希少糖アルロースによる小腸機能の賦活化・回復作用
寒竹 舞・杉山 舞佳

公 衆 衛 生 学

1. 無機元素分析によるアスパラガスと落花生の産地判別
植橋真由子・頼安 里枝
2. 食品に含まれる吸収促進・阻害因子がミネラルの1日尿中排泄率に及ぼす影響
橋本 美佑・石濱 美夕・横地 彩花

3. 食酢を用いた調理法が食事中的ミネラル量に与える影響
加納佑希乃・塩田 真子
4. サプリメント摂取によるミネラル過剰摂取の可能性
岩原 沙季・真谷 優歌

佐伯 青映・吉川 舞

3. 女子大学生の身体組成と生活習慣が血糖値変動に及ぼす影響
西川 加峰・和田 珠希

公衆栄養学

1. 総合合わせカードやおたより等による園児及び保護者の食意識の変化について
細川 菜摘・松本 菜花・西村 陽音
2. 食品ロスの観点からみた小学校での食育活動の有効性
川畑 ゆう・太田 丈恵
3. 高齢者サークルの健康づくり支援とその効果の検討
松本 千奈・森 美恵
4. 健康管理アプリの改良、利用状況の把握及びその有用性の検討
齊藤 鈴加・土屋 詩織

給食経営管理学

1. 介護老人保健施設において提供される刻み食のサイズ及びそれらの提供理由に関する調査
眞下 響子・美濃部沙羅
2. 給食施設で利用されている冷凍野菜の栄養成分分析——生野菜との比較——
飯田 彩乃・河合優香里・物部 佳奈
長尾 早彩・浦田 加菜
3. 高齢者施設給食における食材料の検討——生および冷凍野菜使用時の喫食率と労務費の比較——
小池明日香・牧野 玲奈

臨床病態学

1. 心電図と加速度脈波の同等性の確認およびGABAの抗精神的疲労効果の検討
足立有紀乃・本庄 礼奈
2. ビタミンCの抗精神的疲労効果の検討
葉山 葵・陸田 舞歩・西端 梨沙
3. 性格・気質と食刺激による脳活動の関連性の検討
井上 真那・谷口 舞香
4. ハーブ *Salvia Rosmarinus* と脳活動
岡本向日葵・杉江真悠子

臨床栄養学

1. 運動時における簡易的エネルギー消費量推定法の検討
古川 真由・飯田 芽生
2. 妊娠前・中の母親の体重、出生後の発育状況が女子大生の体型や体組成に影響を与えるのか

生化学

1. 低糖質高脂肪食が成長期マウスの代謝関連遺伝子発現に与える影響
寺田 真菜・吉川 美波
2. 低糖質高タンパク質食摂取が成長期マウスにおける糖質・脂質代謝の遺伝子発現に与える影響
福田あゆみ・根来 瑛子・吉岡いずみ

食品微生物学

1. ドライイチジクによる自家培養発酵種のマイクロフロー解析
橋本 真実・金谷 咲良
岡田 理菜・山本 佳世
2. 朴葉およびサルトリイバラの葉の抗菌性
石川 未紗・笠松 采夏
島田ひかる・末松くらら

食品物性学

1. 熱水糊化された馬鈴薯澱粉の等温粘度増大過程
朝倉 菜摘・樋口 菜月・高安 千尋
2. 熱水糊化された玉蜀黍澱粉の等温粘度増大過程
笠嶋あかり・宮越 日菜・辻本 純奈

食品栄養学

1. 食品中の難消化性成分が腸内細菌活動に与える影響に関する研究
阿部 奏穂・小早川 藍
2. 食感動性に関わる要因解析に向けた統合的評価方法の確立
新子 千尋・別所香奈美
3. 冷温受容体を活性化するメントールの長期摂取が体温調節機能に及ぼす影響
每熊 麻花・中島 綾・柳井 美希
4. 糖アルコールを含む低カロリー甘味料の併用摂取が脂質代謝に与える影響
藤井 菜瑠・長谷部由美

食品加工学

1. 亜臨界水処理のポテンシャルの検討
海川真奈美
2. 洋菓子に合う焙じ茶の選定に関する基礎研究
辻 汐里
3. 魚肉の凍結条件が解凍調理後の食味に及ぼす影響
辻 恭子・前田 絢音
4. 抗酸化能を発揮するグルコース及びマルトトリ

<生活科学部卒業論文題目>

オース修飾鶏筋原線維タンパク質の乳化特性
青山 遥・牛尾 有里・佐藤 千紘

5. エマルションゲルの物性——硬化油を用いたゲルの物性検討——
北湊 咲葵

4. 血中アポタンパク質濃度と糖尿病との関連性の検討
河水 裕香・園部 紗江

5. ウンシュウミカンの貯蔵によるフラボノイド含有量の変化
木村梨紗子・瀬脇美希帆

食品機能学

1. β -シクロデキストリンを用いた β -カロテンの可溶化の検討
河田 美和・小島 香里

2. HepG2細胞を用いた肝障害モデルに対するカンキツ機能性成分の抑制効果
本庄 優衣・相馬 彩生

3. 生活習慣と動脈硬化リスクとの関連性
足立 真子

運動生理学

1. ヨガトレーニングが一般女子学生の身体および精神的健康に及ぼす影響
谷口 初音・臼井 美羽・石川 実玖

山本 留華・清水 和

2. 登山・下山とウォーキングの運動強度および睡眠への影響
中村 志帆・奥村 真央
小原 悠益・立野 奈千